

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2002-510690(P2002-510690A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542323(P2000-542323)

【国際特許分類】

C 07 D 471/18 (2006.01)
 A 61 K 31/444 (2006.01)
 A 61 P 25/00 (2006.01)
 A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/18
 A 61 K 31/444
 A 61 P 25/00
 A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月10日(2006.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

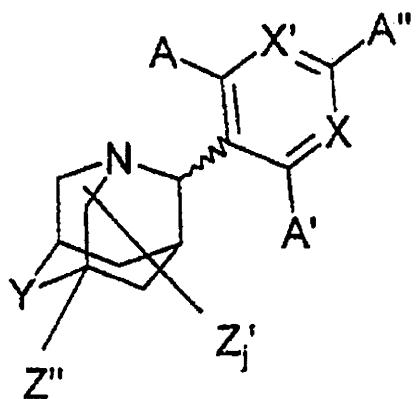
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ニコチン拮抗薬を含み、次式の化合物の有効量を含む薬剤組成物。

【化1】



式中、X'は、シグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種に結合した窒素または炭素であり、Xはシグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種に結合した窒素または炭素であり、A、A'およびA''は、それぞれ別個の、シグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種であり、Z'は水素以外の置換種であり、jは0から5までの整数であり、上記構造中の波線は本発明の化合物がエナンチオマーまたはジアステレオマーの形態で存在してもよいことを示し、Z''は水素または水素以外の置換基であり、YはC=O、C(OH)R'またはCH_Aであり、R'は水素またはC₁-C₁₀アルキルである。

【請求項 2】

YがC₆H₅である、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 3】

jが0である、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 4】

A、A'およびA''が水素である、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 5】

Z''が水素である、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 6】

前記化合物が1-アザ-2-(5-ブロモ(3-ピリジル)トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 7】

前記化合物が1-アザ-2-[5-アミノ-(3-ピリジル)]トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 8】

前記化合物が1-アザ-2-[5-エトキシ-(3-ピリジル)]トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 9】

前記化合物が1-アザ-2-[5-イソプロポキシ-(3-ピリジル)]トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 10】

前記化合物が2-(3-ピリジル)-1-アザトリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 11】

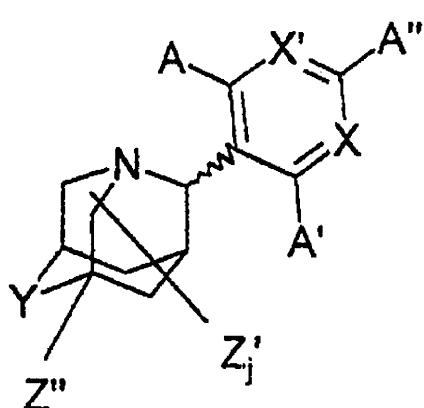
前記化合物が5-アザ-6-(3-ピリジル)トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカン-2-オールである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 12】

前記化合物が5-アザ-1-(ヒドロキシメチル)-6-(3-ピリジル)トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}]デカン-2-オンである、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項 13】

通常の神経伝達物質放出の変調によって特徴付けられる容態または疾患を、次の一般式の化合物の有効量を必要のある患者に投与するステップを含む治療方法。

【化2】

式中、X'は、シグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種に結合した窒素または炭素であり、Xはシグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種に結合した窒素または炭素であり、A、A'およびA''は、それぞれ別個に、シグマm値が0より大きいか、0より小さいか、または0であると特徴付けられる置換種であり、Z'は水素以外の置換種であり、

j は 0 から 5 までの整数であり、上記構造中の波線は本発明の化合物がエナンチオマ - またはジアステレオマ - の形態で存在してもよいことを示し、Z" は水素または水素以外の置換基であり、Y は C = O、C(OH)R' または C H A であり、R' は水素または C₁-C₁₀ アルキルである。

【請求項 14】

Y が CH₂ である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

j が 0 である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

A、A' および A" が水素である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 17】

Z" が水素である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 18】

1 - アザ - 2 - (5 - プロモ(3 - ピリジル)) トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 19】

1 - アザ - 2 - [5 - アミノ - (3 - ピリジル)] トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 20】

1 - アザ - 2 - [5 - エトキシ - (3 - ピリジル)] トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 21】

1 - アザ - 2 - [5 - イソプロポキシ - (3 - ピリジル)] トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 22】

2 - (3 - ピリジル) - 1 - アザトリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 23】

5 - アザ - 6 - (3 - ピリジル) トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカン - 2 - オールである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 24】

5 - アザ - 1 - (ヒドロキシメチル) - 6 - (3 - ピリジル) トリシクロ[3.3.1.1^{3,7}] デカン - 2 - オンである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 25】

前記容態または疾患を治療するのに効果的な量が患者の体重 1 kg あたり 1 μg より少ない、請求項 13 に記載の方法。